

## 「腹圧性尿失禁について」



### 函館中央病院 泌尿器科 小野 武紀 科長

#### [略歴]

平成10年、弘前大学医学部卒業。  
旭川厚生病院、市立旭川病院、名  
寄市立総合病院、市立釧路総合  
病院、函館中央病院、市立小樽病  
院、北海道大学病院、KKR札幌  
医療センター、釧路労災病院での  
勤務を経て、平成24年、函館中  
央病院泌尿器科科長に就任。日本  
泌尿器科学会専門医・指導医、日  
本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹  
腔鏡技術認定医。

急に立ち上がった時、咳やくしゃみをした時など、お腹に力が入ったときに尿がもれてしまうことがあります。これが腹圧性尿失禁です。原因は、妊娠や出産、加齢などで骨盤底筋群という尿道括約筋を含む筋肉がゆるんだり、尿道をささえる組織が弱くなるためとされています。女性に多く、40歳以上の女性の4人に1人が悩んでいるといわれています。

急に立ち上がった時、咳やくしゃみをした時など、お腹に力が入ったときに尿がもれてしまうことがあります。これが腹圧性尿失禁です。原因は、妊娠や出産、加齢などで骨盤底筋群という尿道括約筋を含む筋肉がゆるんだり、尿道をささえる組織が弱くなるためとされています。女性に多く、40歳以上の女性の4人に1人が悩んでいるといわれています。

腹圧性尿失禁が疑われたら、問

診と診察をおこないます。ほとんどの場合、検尿、エコー、排尿日誌といった身体に負担のない検査で診断がつきます。必要に応じて、チエーン膀胱尿道造影検査、パッドテストなどの詳しい検査を行うこともあります。

治療では、軽い「腹圧性尿失禁」の場合、骨盤底筋訓練で骨盤底筋群をきたえることにより、かなりの改善を期待することができます。その他には、パッドなどで尿もれを対処する方法、薬物療法があります。

骨盤底筋訓練などの保存的治療で効果がみられない場合、更なる改善を求められる場合には手術療法の適応になります。現在では、生体適合性のよいポリプロピレンメッシュのテープを尿道の下に通して、尿道を支える「TVT手術」または「TOT手術」と名づけられた手術が長期成績も良好で、侵襲性・合併症のリスクが低いことも優れています。手術にかかる時間は30分前後。入院期間は数日程度で、術後、約2カ月は運動を控える必要があります。

このように程度により様々な治療法があります。腹圧性尿失禁は生命に直接影響するわけではありませんが、生活の質を大きく低下させる病気です。困ったなと思ったら、恥ずかしがらずに、あきらめずに、泌尿器科専門医にご相談ください。



### 函館中央病院

函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubyou.com/>

診療科目／内科、消化器内科、循環器内科、産婦人科、小児科、外科、整形外科、形成外科、  
心臓血管外科など全22科目

受付時間／8:30～11:30・13:30～16:00※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。  
休診日／日曜・祝日・年末年始・開院記念日(6月第1水曜)